

本年度も陣内恵二部長のもと、専門部も様々な活動を行って頂きました。高体連をはじめバスケットボール協会や諸先生方、関係各位のご協力・ご支援により無事に各行事・大会を終了できることを衷心より感謝申し上げます。さて、本年度も新人大会から全国選抜県大会までの各大会を振り返り、今年のご反省ならびに今後の課題を上げてみたいと思っております。

《 県 新 人 大 会 》

11月5・11・12日

* 男子 *

昨年度の大大会成績ポイントにより、佐賀北・龍谷高・鳥栖高・佐賀東を4シードに置き、新しいシーズンが始まった。今シーズンも佐賀市内勢が圧倒的に有利との予想であり、それに他のチームがどこまで食い下がるか注目が集まる。まず、佐賀北・佐賀東は危なげなく準決勝に進出する一方、主力のほとんどが3年生であった鳥栖高は台替わりが追い付かずそれに代わって三養基が嬉しいベスト4入りを果たす。またシード校の常連である龍谷高を鳥栖工が破り、三神地区から二校が4シードに入り、勢力地図にも変化が見られた。しかし準決勝では佐賀北が鳥栖工を、佐賀東が三養基を圧倒し決勝へ駒を進める。昨年度より続いている二校による決勝は、今回は佐賀北が自力で勝利佐賀東を圧倒、見事9年ぶり17回目の優勝を果たした。

今年には180cm後半の選手がいくつも見られる。小柄な本県にとっては今後の成長が大いに楽しみである。

* 女子 *

昨シーズンのポイントにより、佐賀北・佐賀東・唐津東・清和高を4シードに置き、新しいシーズンの幕開けとなった。ベスト8には鳥栖商・多久高・佐賀西・武雄高が入った。その中で武雄高は一回戦で佐賀商を下し初のベスト8入りを果たした。上位4チームに変動はなく、準決勝でも佐賀北・清和高が頭一つリードした。決勝は昨年に全国総体・瀬全国選抜を経験した佐賀北が僅差のゲームをものにして2年連続6回目の優勝で幕を閉じた。

ここ数年上位2チームの独壇場と化しているため打倒佐賀北・清和高を目指して各チームとも戦略を練り、男子とともども県のレベルアップを図ってもらいたい。

《全九州春季選手権大会佐賀県大会》

12月9・10日、1月13・14日

男子

新人大会のベスト4、佐賀北・三養基・鳥栖工・佐賀東をスーパードに置き、下位回戦から熱のこもった試合開催催され本戦への出場がかかっているため、縄県で臨む8に勝ち上校。準々決勝を早い段階で突破し、代表の座を争った。序盤より見事なゲームコントロールで鳥谷高の突死も死闘、本戦へは新人大会同様、佐賀北と佐賀東が二勝同士の対戦し、佐賀東が3年煉獄6回目の優勝を果たした。以下、佐賀東・鳥栖工・龍谷高の順。なお、ベスト4以外は力拮抗したチームがある。

女子

新人大会のベスト4、佐賀北・唐津東・佐賀東・清和をスーパードに置き、下位回戦から上位進出をみる各チームが熱い戦いを繰り広げた。その中でベスト8に勝ち上ったのは、多久高・武雄高・白石崩れず、佐賀商人大会では、二勝同士の対戦が対戦。手の内を回った。清和がリベンジを果たして2年ぶり9回優勝、以下、佐賀北・唐津東・佐賀東の順となった。

消化不良に終わった佐賀北だが、県総体を見据えて着実に準備を進めている。佐賀北が強く不気味である。女王の座を奪還した清和高も決して油断はできないだろう。

以下に続くチームは更なる工夫が必要だろう。刺激がなければ変化は決して起こらない。なお、ビックセンタ－2名を擁する佐賀商が早々にベスト8に復帰した。今後の動向に期待したい。

《 県 春 季 選 手 権 大 会 》

3 月 25 日 ～ 27 日

* 男 子 *

一月に行われた全九州春季選手権大会県大会のベスト4、佐賀北・龍谷高・鳥栖工・佐賀東がシードされ、行われたが波乱はなく上位4校に変更もなかった。準決勝では佐賀北・佐賀東が龍谷高・鳥栖工を圧倒し決勝にコマを進めた。決勝は再び「北東対決」、前大会の敗戦を分析し、オフエンス力を上げてきた佐賀東は佐賀北に肉薄するが勝利には至らず、点差を守り切った佐賀北が6年ぶり17回目の優勝を果たした。今シーズン負けなしの佐賀北に迫る勢いの佐賀東。しかし、その差は簡単には埋められない。最後の総体に向け全てのチームが打倒佐賀北を目標に東になってかかっていくであろう。

* 女 子 *

女子も一月に行われた全九州春季選手権大会県大会のベスト4、清和高・佐賀東・唐津東・佐賀北がシードされ、熱戦が展開された。波乱もなく各チームが勝ち進み、準決勝でも清和高・佐賀北が貫録を見せ決勝に進んだ。前半リードした佐賀北ではあったが今シーズンは核になる選手がいなためなかなかゲームが落ち着かなない。対する清和高も大型選手不在のため、スピードとフィジカルで勝負してもタフショットの精度を上げない限り、安定したチームとは言えないだろう。総体も常連校四校の争いになるか、ベスト4の一角を崩すチームが表れるか楽しみをしたい。

《 県 総 合 体 育 大 会 》

6 月 1 日 ～ 4 日

* 男 子 *

三月の春季大会の成績を受け、佐賀北・龍谷高・鳥栖工・佐賀東をシードに置き、初戦より激しい熱戦が繰り広げられた。特に今大会は延長にもつれるクロスゲームが多かったことが特筆することである。その中

でも鳥栖工対佐賀工の試合は、延長終了のブザーと同
時に放ったシユ一トを決めた、佐賀龍が劇的な逆転予
選で対戦し、三つた。養基に沸かした。ジを全九州校
が入れ替わった。賀北賀北賀北賀北賀北賀北賀北賀北
養佐賀北賀北賀北賀北賀北賀北賀北賀北賀北賀北賀北
権を最終に照が機」の貯手勝もらった。残りき。残
試合の退場か…迫きた拍最後与に
の選か…迫きた拍最後与に
退場か…迫きた拍最後与に
か…迫きた拍最後与に
…迫きた拍最後与に
迫きた拍最後与に
きた拍最後与に
拍最後与に
最後与に
与に
に

*** 女子 ***

女子も三月の春季大会の成績を受け、清和高・唐津
東・佐賀三東・佐賀北を置き、清和高・佐賀北
は順当に新興勢力から引き下ろした。第1シードの清和高、
賀商と新座の佐賀北が手堅く2勝を挙げ、他の二校を
第2シードに決つた。今季4度目の戦いは、途中か
寄せ付けな決勝フェリードを伸ばした。佐賀北は大型新人の加入によ
らゾーンで覇をくやる一五へと
オフ二連覇やがあるゾが成績が
勝し、よの壁策の成績が
高賀北通算大会
賀北通算大会

《 全国選手権大会 県大会 》

9 月 16 ・ 22 ・ 23 日

*** 男子 ***

シード校は六月の県高校総体ベスト4である佐賀北・佐賀工・三養基・佐賀東が入り、三年生にとっては大大会が始まった。予想通り佐賀北・佐賀東は順当勝ちしたのに対し、三年生が引退し、新チームで参戦していた佐賀工と三養基はそれぞれ三、四回戦で姿を消した。変わって、総体で悔しいシード落ちをした龍谷高・鳥栖工が返り咲きした。しかし、準決勝においては、佐賀北・佐賀東と龍谷高・鳥栖工の力の差は歴然であり、問題なく佐賀北と佐賀東が決勝に進出した。

決勝はこれまで佐賀北の前に苦杯をなめさせられてきた佐賀東が気持ちのこもったプレイで隙を作らず、完璧なゲーム展開で佐賀北を圧勝し、今シーズン最後の大会を優勝で締めくくった。3年連続14回目の出場となる佐賀東には、ぜひ全国大会で一つでも多く勝ってほしいと思う。

* 女子 *

女子も六月の県高校総体のベスト4、佐賀北・武雄高・佐賀商・清和高がシードされ、熱戦が展開された。準々決勝で唯一、再び大型選手の加入により選手層に厚みが出てきた佐賀西が、新チームとして臨んだ武雄高を破り、嬉しいベスト4入りを果たした。準決勝は佐賀北・清和高が手堅く勝利し、こちらも男子同様に総体と同カードの決勝戦となった。

決勝は、1・2年生のみで構成する佐賀北と主力3年生のほとんどが残る清和高との真剣勝負であった。新チームとはいえ、170cmを超える大型チーム佐賀北の高さの前に、なかなかシュートの精度が上がらない清和高が追う展開が続いた。清和高は過去2年全国大会から遠のき是非でも優勝を果たしたい思いが強く、力みからなかなか佐賀北をとらえることができない。結局、最後まで落ち着いてプレイできた佐賀北が清和高をかわし、2年連続5回目の優勝を果たした。今年の全国総体では延長で惜敗した佐賀北だけに、十分な修正を加え、最後の大会を迎えてほしい。

《 全九州春季選手権大会 》

3月16～18日 【 沖縄県那覇市など 】

* 男子 *

Aパートには佐賀北と佐賀東が出場。佐賀北は長崎西（長崎2位）と対戦し、勝機は十分あったが決定力

にかけたため接戦を落とし、75-85で惜敗。佐賀東は大分舞鶴（大分1位）を前に全くいいところを見せられず、68-92と大敗。

Bパートには鳥栖工と龍谷高が出場。鳥栖工は長崎東（長崎4位）と対戦し、参加チーム中で最も小さいながらも最後まで健闘し52-64で敗退。龍谷高も鹿児島商（鹿児島3位）に前半リードするが徐々に失速してしまい41-63で敗退した。

出場した4校全てが初戦敗退という悔しい結果に終わり、早急な県全体のレベルアップが必須である。

* 女子 *

Aパートには清和高と佐賀北が出場。清和高は一回戦で藤蔭高（大分2位）と対戦し、序盤から小気味よく得点し終始ペースを崩さず89-52で勝利したが、続く二回戦では日章学園（宮崎1位）に抑え込まれ、55-83で敗退しベスト4進出とはならなかった。一方、佐賀北は鹿児島純心女子（鹿児島1位）と対戦。相手に一步も引けを取らないナイスゲームであったが、お互いにファールトラブルに陥りどちらが勝ってもおかしくないゲームであったが残念ながら勝利の女神は微笑まなかった。63-64で惜敗、勝負の厳しさを味わった。

Bパートに唐津東と佐賀東が出場。唐津東は宗像（福岡4位）と対戦し、52-89で敗退。佐賀東は地元コザ高（沖縄3位）と対戦したが力の差は歴然、37-70で大敗。

《九州総体》

6月15～17日【長崎県大村市】

* 男子・女子 *

男女の佐賀北と佐賀東（男子）と清和高が出場。男子の佐賀北が2m級の留学生を獲得した新興勢力である藤蔭高（大分2位）と対戦。出だしはペースがつかめず苦戦を強いられるが、持ち前のスピードと多彩なコンビネーションプレイ・高確率なシュートでゲームを支配。最後は相手の追い上げにあったが、87-81で勝利。続く二回戦は同じく留学生を擁する延岡学園（宮崎1位）と対戦するが、規格外の留学生を抑えることは困難を極めた。65-108と大敗を喫し、ベスト4進出とはならなかった。それ以外では佐賀東が長崎西（長崎2位）と対戦し前半は互角に戦ったが後半は離され

69-86で敗退。佐賀北（女子）は糸満高（沖縄2位）に43-60、清和高が精華女子（福岡1位）に58-95と、元気なく敗れた。

《全国総体》

8月2日～7日【愛知県小牧市・一宮市】

男子

佐賀北が出場し、一回戦で市立船橋（千葉県）と対戦。序盤よりスピーディで点を取り合うハイペースな試合展開となったが、体格で上回る相手に対し徐々に苦しい試合展開となる。中を守れば外を、外を守れば中をと縦横無尽にプレイする相手に完全にペースを奪われ、必死に点を取りに行くが身長とフィジカルの差がじわじわと効いてくる。善戦はしたものの終わってみれば83-123と、八十点台の得点を取りながらも、それを上回る相手の攻撃力の前に残念ながら初戦敗退となった。

女子

佐賀北が出場し、一回戦で滋賀女子（滋賀県）と対戦。二年連続の全国大会ということもあり、経験を積んだ上級生と期待の大型新人のコラボがうまくいき、前半リードで終了。しかし、体力的に厳しくなりゾーンドィフェンスに切り替えてからはジリジリを相手の追い上げに合う。必死に逃げ切りを図ろうとするが、奇しくも延長戦へ突入。結局流れを変えられ、念願の初戦突破はならなかった。今年こそは殿損が大会ではあったが、逃がした大魚は大きかった。

《全国選手権大会》

※12月23日～29日【東京都】予定

男子

2m級の外国人留学生を擁する高知県代表の高知中央高と対戦した。圧倒的に高さで劣る佐賀東であるが鍛え上げられたチームディフェンスと緻密なセットオフで何とか接戦に持ち込もうとする。しかし、高さのアドバンテージを克服することは容易ではなく徐々に点差が開いていく。第三ピリオド終了時には20点差がつき、勝負あったかと思った第4ピリオドに佐賀東の怒涛の追い上げが始まる。当たり始めた3ポイントシュートで点差が詰まりだし、息もつかせぬほど

のプレッシャーで、乗りの攻撃も増え始め、点差が少しく、つ詰ま
っていき。勢いでいったら、逆戻しは純血に強化が
利壁に浮足を取った。逆戻しは純血に強化が
80-90で抵抗すべからに
賀東の糧に、

* 女子 *

インターハイで悔しい敗戦を経験した佐賀北工が出
場し、宇都宮文星女子高（栃木県）と対戦した。スタ
ートダッシュにゲームを進め、前半は佐賀北が序盤はペースをつか
み優位にゲームを進め、後半からトランプディフェンスで仕掛け
してきた文星女子に対し、パスで突破を図ろうとした佐
賀北だが、フィジカルの強さは相手が一枚上手であり、
となかなかボールを前に進めることができない。その
ため体的にもその消耗が激しく、逆転を許してから
は、点差は徐々に開いていく。終わってみれば 72-87
で敗退、ゲーム内容がインターハイに似ており、反省
が残る一戦となった。今大会、唯一 1・2 年生だけで
出場したのは佐賀北だけであり、伸びしろまだまだあ
るのでは今後の活躍が大いに期待できる。全国初勝利の
日は近いと思うので、更なる精進を期待する。

◎ 総評

男子は、佐賀県では圧倒的な強さを見せた佐賀北で
あるが、九州総体で一勝を上げた以外は、なかなか上
位の壁は破れない。佐賀東も攻撃のバリエーションを
増やし、相手の隙を突こうと工夫をしていくがこちらは
結果につなげられない。それ以外のチームは、まずは
二チームを脅かすレベルに達していない。平成 35 年
の本県で開催される佐賀国体に向け、課題は山積して
いる。

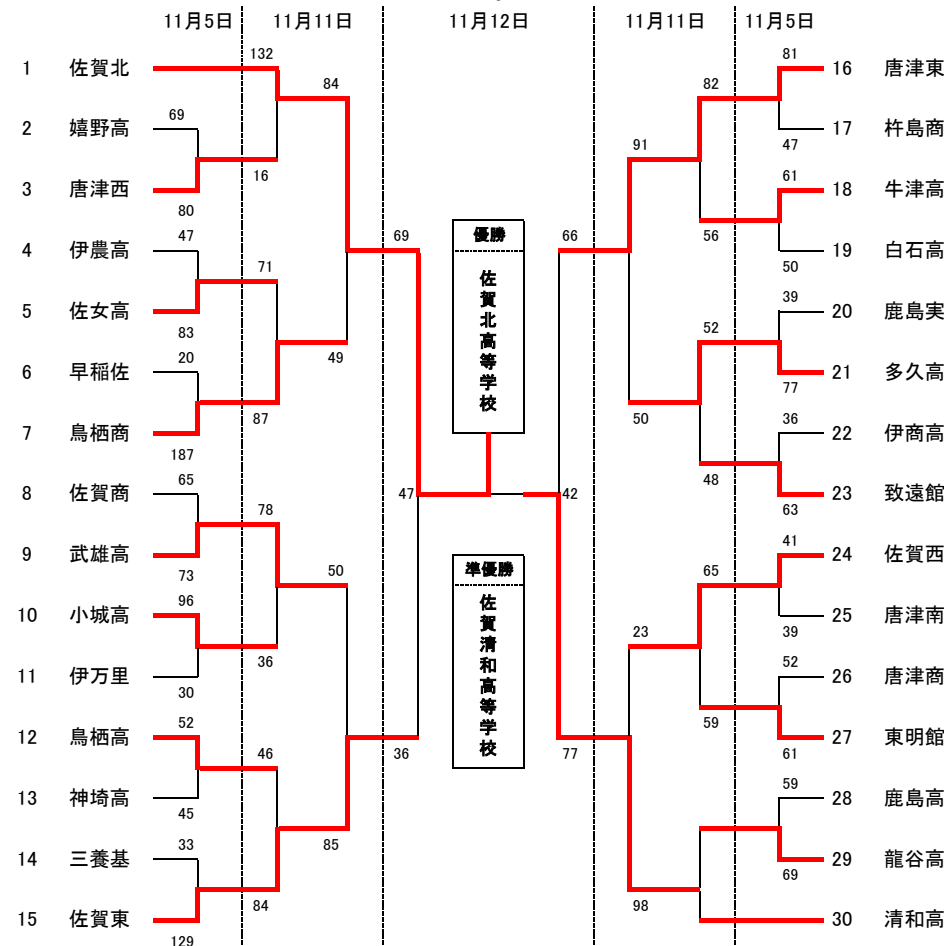
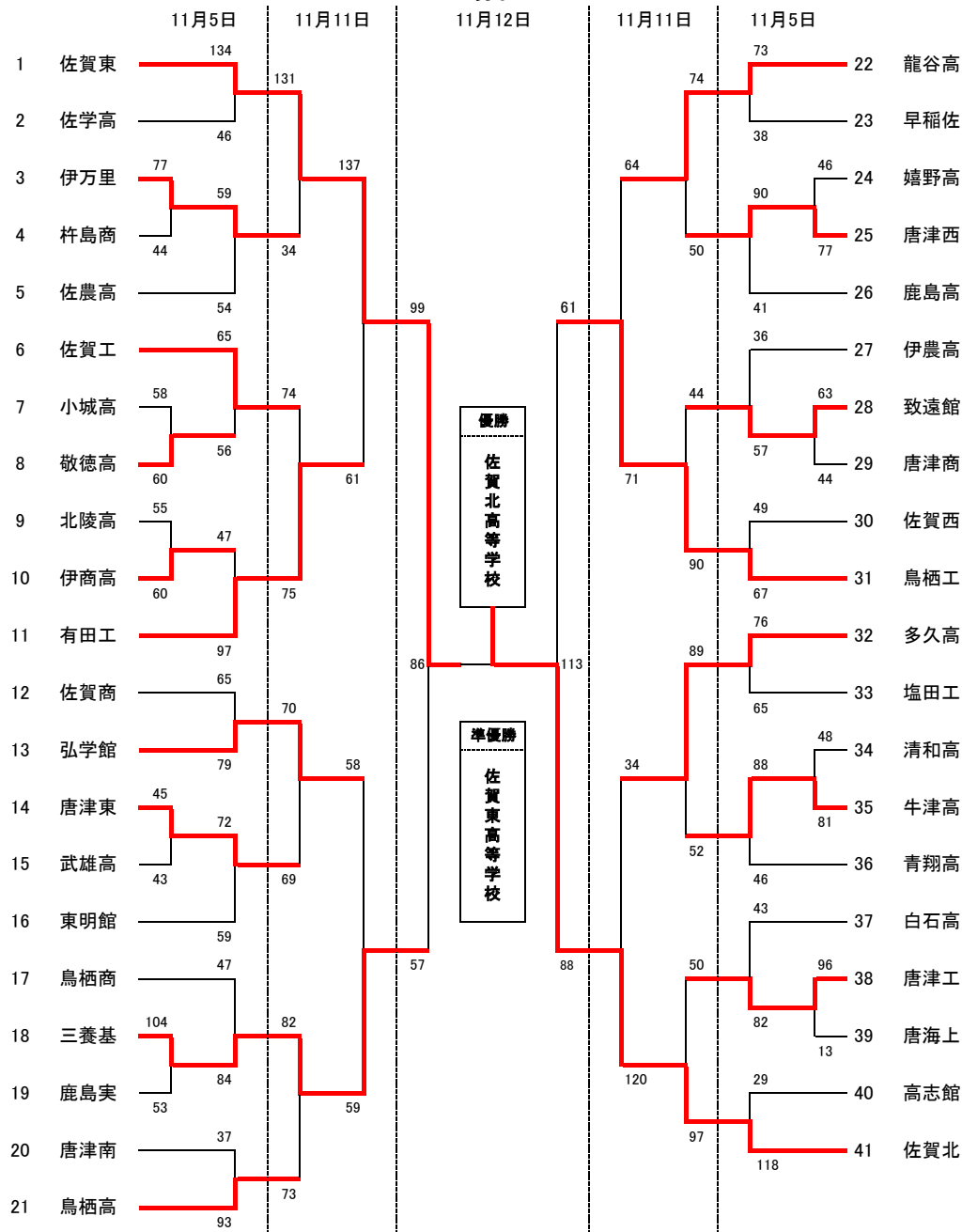
女子も男子同様に清和高と佐賀北が常に台頭したい一
年であつたが、外に出るのを獲得した今後、佐賀北の躍進
には期待がもてる。伝統校である清和高もこのまま

佐賀北の独り歩きを許せるわけがなかろう。今後は、佐賀商・武雄高をはじめすべての学校が、この二校にいい刺激を与えてくれればレベルアップも図れるだろう。男女共通して言えることは県外チームとの差を埋めることである。「ローマは一日にして成らず」である。もっと貪欲に活動に励み、明るいニュースを届けたい。最後になりますが、現状を分析して佐賀県バスケットボール協会を上げて課題解決を図り、今後も佐賀県チームのレベルアップを進めていきたいと思えます。

第69回佐賀県高等学校バスケットボール新人大会 勝ち上がり表

《男子》

《女子》

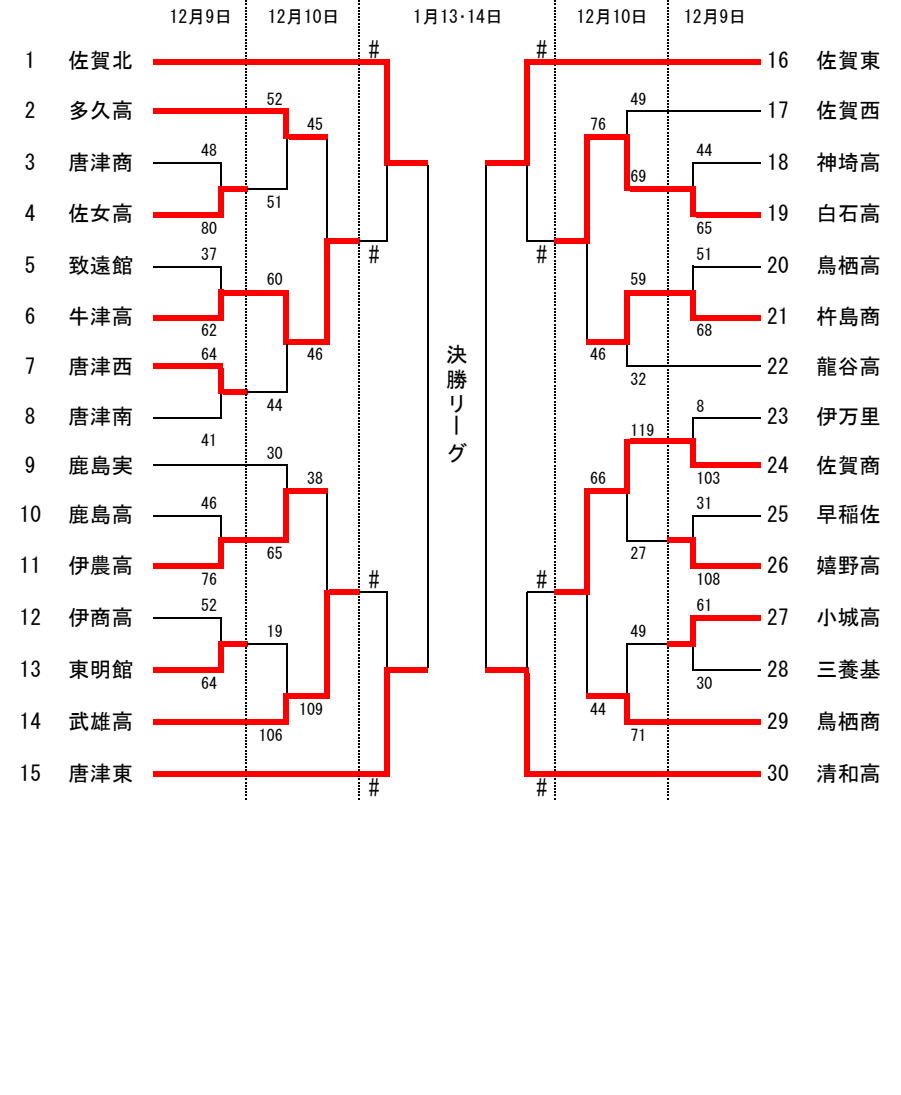
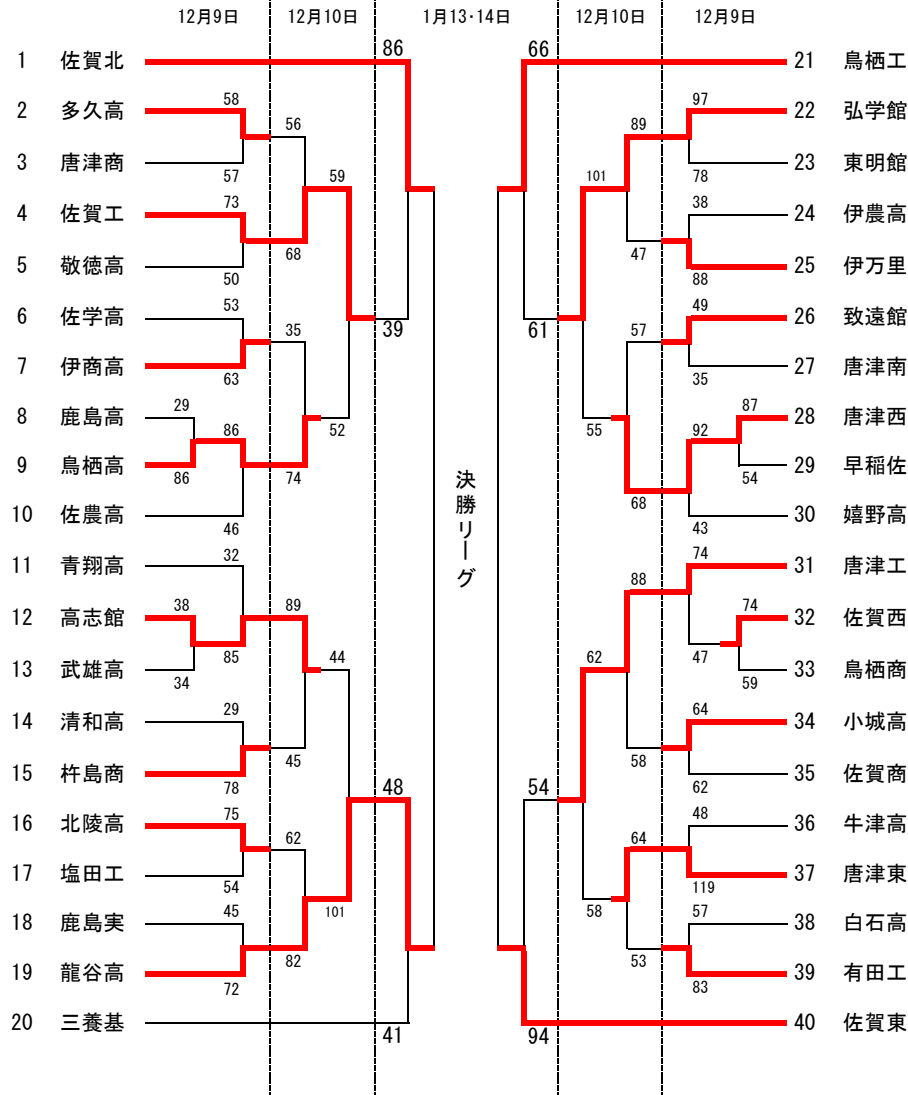


<p>【男子】</p> <p>優勝 佐賀県立佐賀北高等学校 9年ぶり17回目の優勝</p> <p>2位 佐賀県立佐賀東高等学校</p> <p>3位 佐賀県立鳥栖工業高等学校</p> <p>3位 佐賀県立三養基高等学校</p>	<p>【女子】</p> <p>優勝 佐賀県立佐賀北高等学校 2年連続6回目の優勝</p> <p>2位 佐賀清和高等学校</p> <p>3位 佐賀県立佐賀東高等学校</p> <p>3位 佐賀県立唐津東高等学校</p>
--	---

第48回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会佐賀県大会

《男子》

《女子》



男子決勝リーグ (1月13日)			
佐賀北	97-50	龍谷高	
佐賀東	90-44	鳥栖工	
(1月14日)			
佐賀北	97-56	鳥栖工	
佐賀東	80-55	龍谷高	
佐賀北	83-64	佐賀東	
鳥栖工	57-50	龍谷高	

男子			
第1位	佐賀県立佐賀北高等学校	3勝0敗	
	3年連続6回目		
第2位	佐賀県立佐賀東高等学校	2勝1敗	
第3位	佐賀県立鳥栖高等学校	1勝2敗	
第4位	龍谷高等学校	0勝3敗	

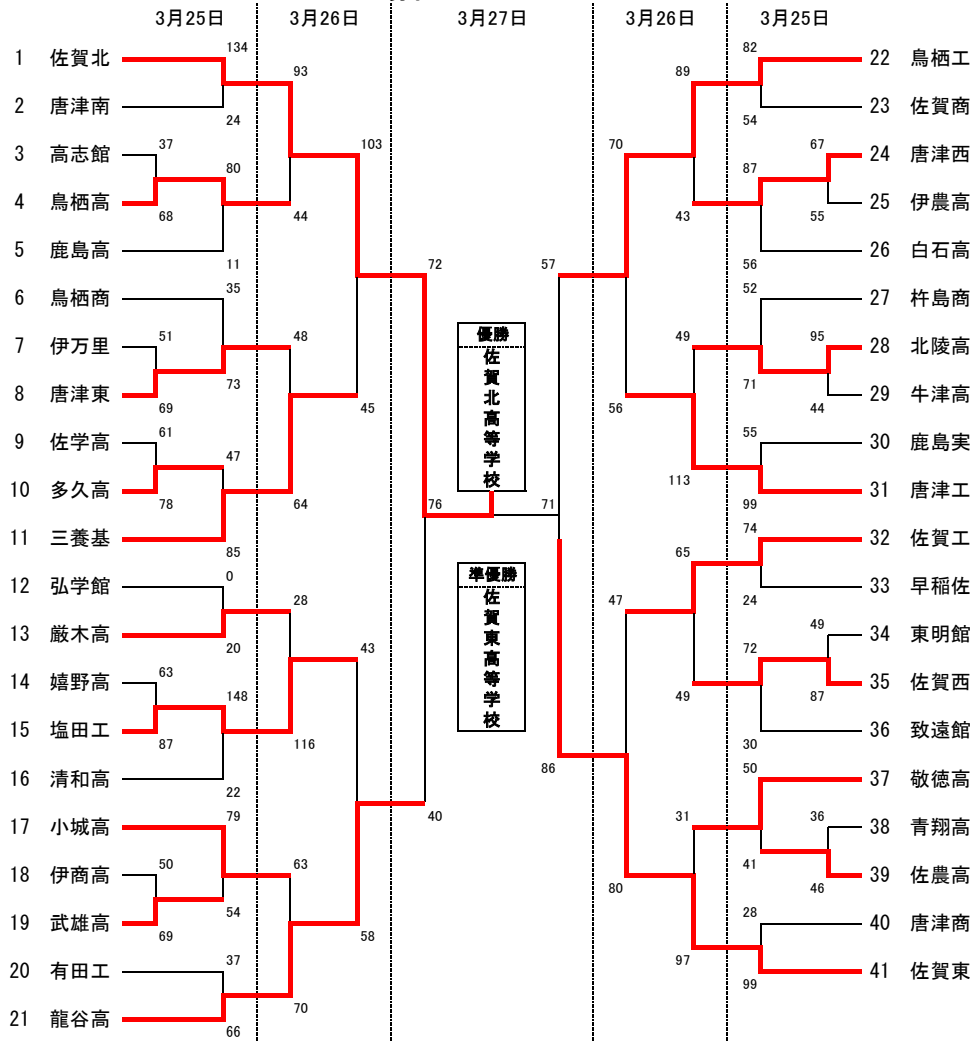
女子決勝リーグ (1月13日)			
佐賀北	80-51	唐津東	
清和高	79-49	佐賀東	
(1月14日)			
佐賀北	77-56	佐賀東	
清和高	74-51	唐津東	
清和高	62-53	佐賀北	
唐津東	67-65	佐賀東	

女子			
第1位	佐賀清和高等学校	3勝0敗	
	2年ぶり9回目		
第2位	佐賀県立佐賀北高等学校	2勝1敗	
第3位	佐賀県立唐津東高等学校	1勝2敗	
第4位	佐賀県立佐賀東高等学校	0勝3敗	

ベスト4のチームは3/16(金)~18日(日)の日程で沖縄県にて開催される九州大会に出場する。

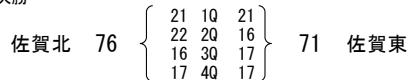
第49回佐賀県高等学校バスケットボール春季選手権大会

男子



男子優勝
佐賀県立佐賀北高等学校
6年ぶり17回目

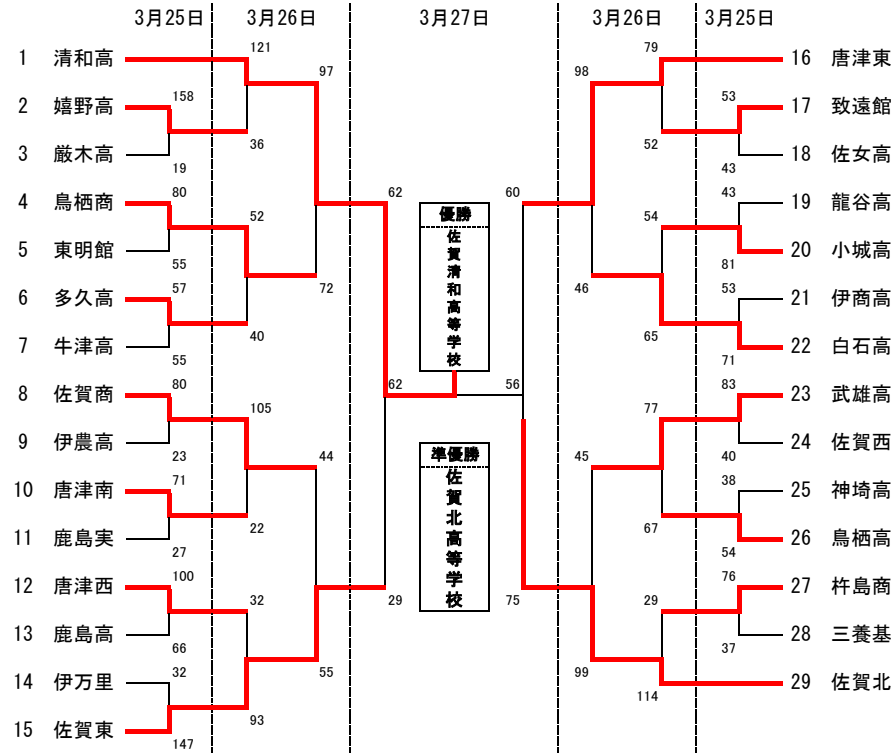
男子決勝



男子
最優秀選手賞
佐賀北：一ノ瀬 皓世

優秀選手賞
佐賀北：原口 裕将
佐賀東：岩本 悟志
龍谷高：下平 大志郎
鳥栖工：臼井 大樹

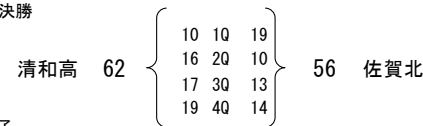
女子



女子優勝

佐賀清和高等学校
2年連続35回目

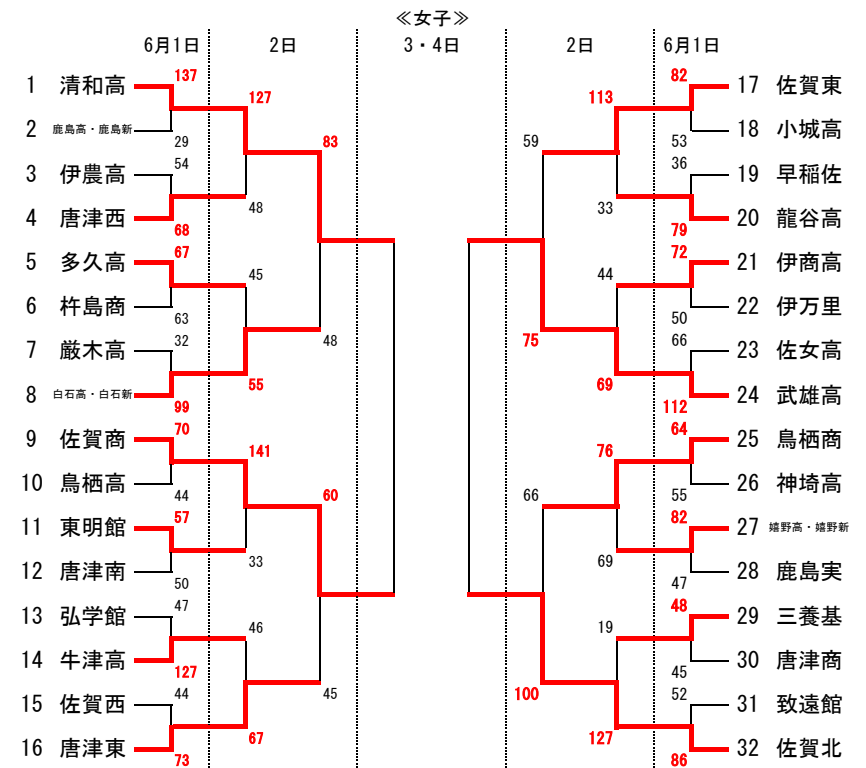
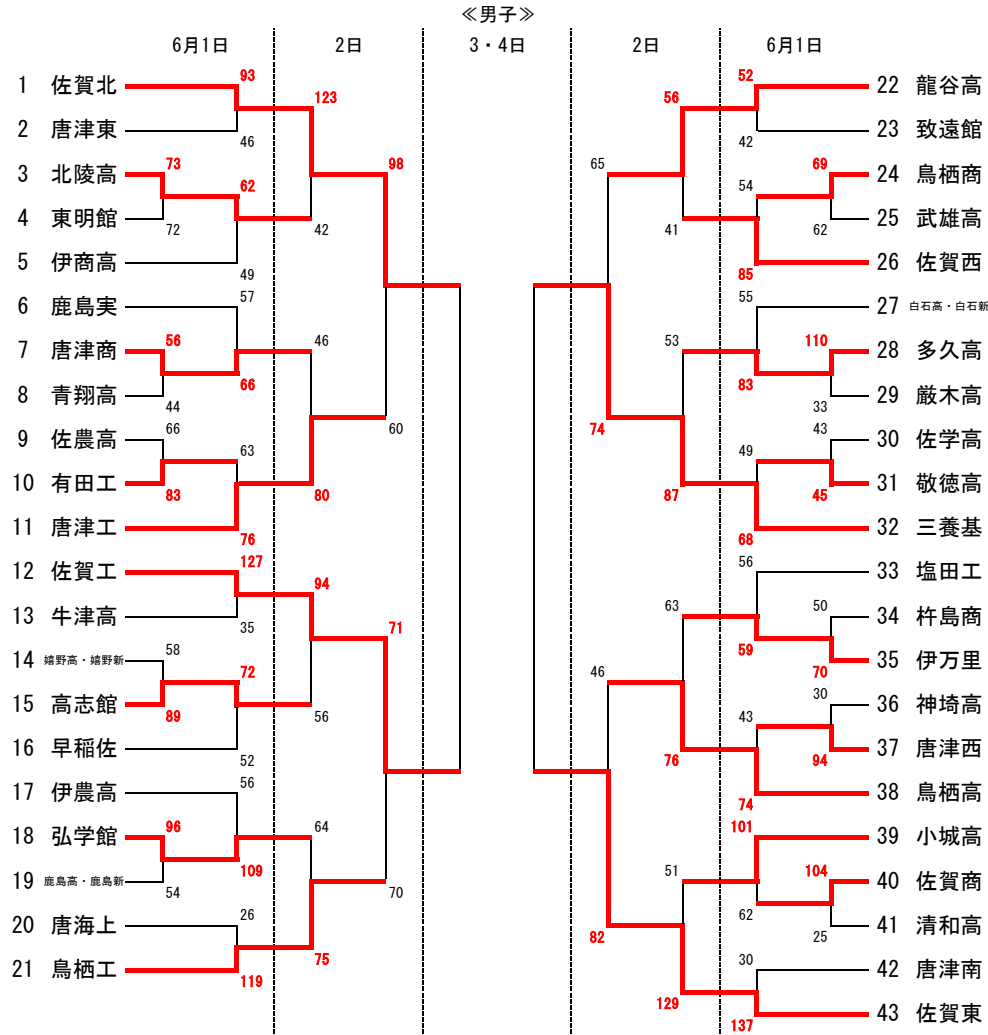
女子決勝



女子
最優秀選手賞
清和高：中野 亜美

優秀選手賞
清和高：渡邊 里佳
佐賀北：野口 和香
佐賀東：福田 桃夏
唐津東：片山 ふみか

平成30年度 第56回佐賀県高等学校総合体育大会 バasketボール競技 勝ち上がり表



《最終成績》

- 【男子】
- 第1位 佐賀県立佐賀北高等学校
3年連続21回目
 - 第2位 佐賀県立佐賀東高等学校
 - 第3位 佐賀県立三養基高等学校
 - 第4位 佐賀県立佐賀工業高等学校

- 【女子】
- 第1位 佐賀県立佐賀北高等学校
2年連続7回目
 - 第2位 佐賀清和高等学校
 - 第3位 佐賀県立佐賀商業高等学校
 - 第4位 佐賀県立武雄高等学校

男子決勝リーグ（3日）

佐賀北	98-42	佐賀工
佐賀東	101-51	三養基
佐賀北	103-46	三養基
佐賀東	87-42	佐賀工

女子決勝リーグ（3日）

清和高	80-62	佐賀商
佐賀北	79-37	武雄高
清和高	102-63	武雄高
佐賀北	97-51	佐賀商

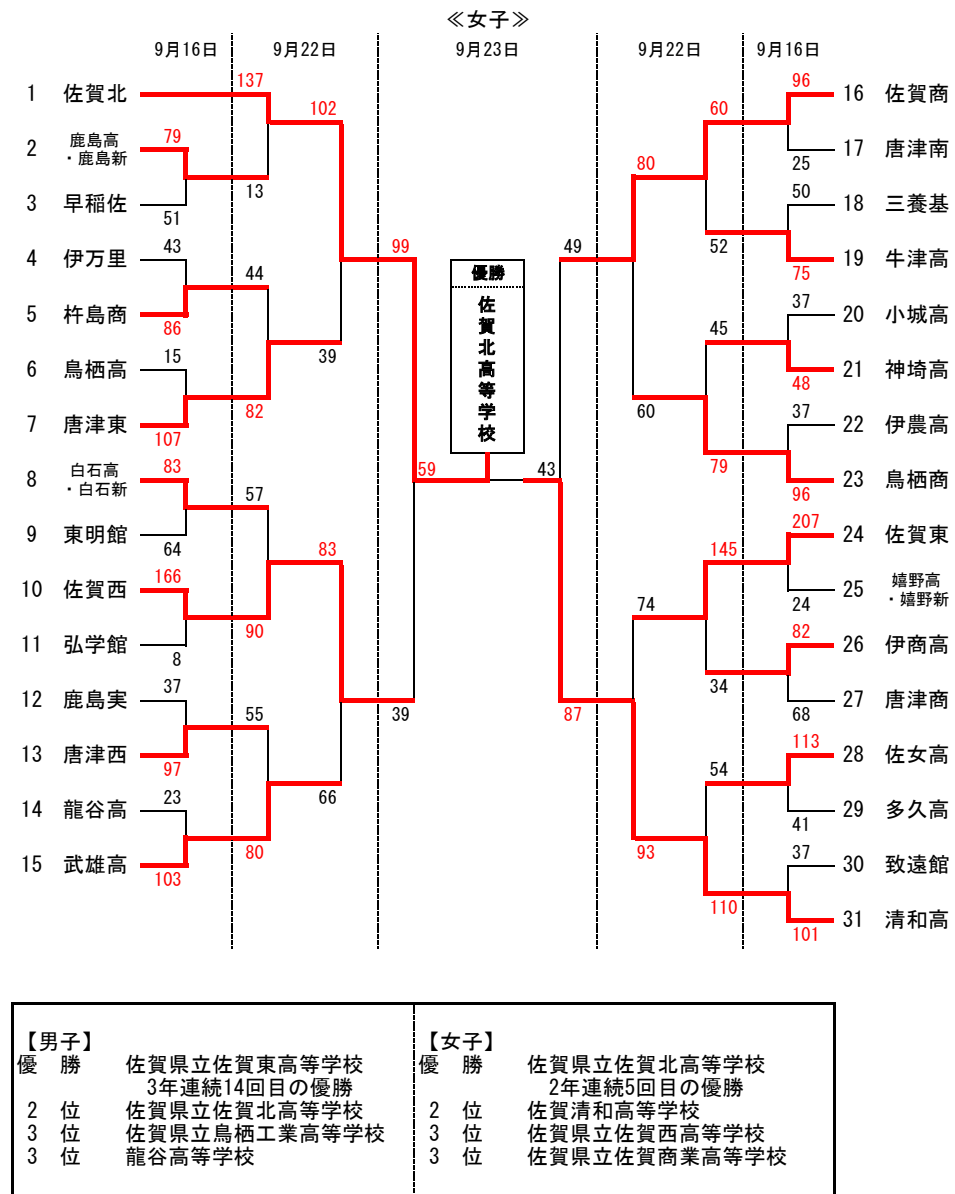
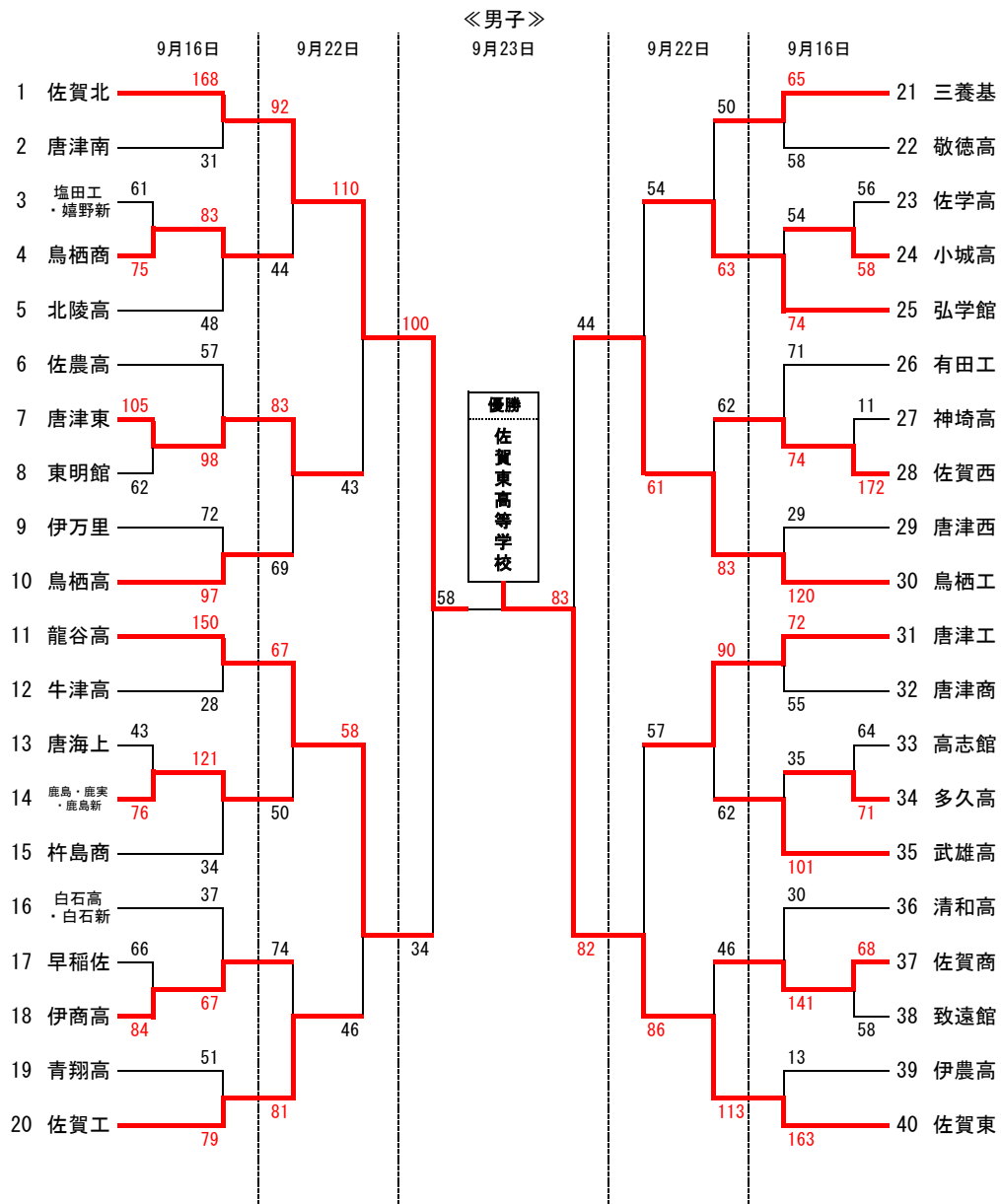
男子決勝リーグ（4日）

三養基	87-70	佐賀工
佐賀北	80-69	佐賀東

女子決勝リーグ（4日）

佐賀商	95-57	武雄高
佐賀北	54-41	清和高

第71回 全国高等学校バスケットボール選手権大会佐賀県大会



【男子】	【女子】
優勝 佐賀県立佐賀東高等学校 3年連続14回目の優勝	優勝 佐賀県立佐賀北高等学校 2年連続5回目の優勝
2位 佐賀県立佐賀北高等学校	2位 佐賀清和高等学校
3位 佐賀県立鳥栖工業高等学校	3位 佐賀県立佐賀西高等学校
3位 龍谷高等学校	3位 佐賀県立佐賀商業高等学校